



2020年3月期 第1四半期決算説明

ご参考資料

2019年7月31日
日本通運 株式会社
経営企画部

目次

I. 2020年3月期 第1四半期業績

A. 2020年3月期 第1四半期業績概要	P.2
B. セグメント別実績	P.3
C. 外部環境の変化およびその他の変動要素	P.4-
D. 売上高・営業利益増減内訳	P.6-

II. 2020年3月期 業績予想

A. 連結業績予想	P.8
B. セグメント別予想	P.9
C. 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)	P.10-
D. 売上高・営業利益増減内訳	P.12-

III. 2020年3月期 セグメント概況

A. 日本セグメント	P.14
B. 米州セグメント	P.15
C. 欧州セグメント	P.16
D. 東アジアセグメント	P.17
E. 南アジア・オセアニアセグメント	P.18
F. 警備輸送セグメント	P.19
G. 重量品建設セグメント	P.20
H. 物流サポートセグメント	P.21

IV. 日通グループ経営計画2023 KPI

A. 日通グループ経営計画2023 KPI <コア事業の成長戦略>	P.22
-----------------------------------	------

補足資料

<補足1> 日本発 輸出航空貨物 重量動向	P.24
<補足2> 日本セグメント内 事業別営業利益 増減(FY2019 1Q)	P.25
<補足3> 輸出貨物動向(航空)	P.26
<補足4> 輸出貨物動向(海運)	P.27
<補足5> 個別費用増減(FY2019 1Q)	P.28

I. 2020年3月期 第1四半期業績

A 2020年3月期 第1四半期業績概要

1. 概要(連結)

(単位:億円、%)

項目	2020/3期 1Q実績	2019/3期 1Q実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	上期予想 (4/26発表)	差額	進捗率
売上高	5,197	5,162	34	0.7	10,500	5,302	49.5
営業利益	106	170	△63	△37.5	270	163	39.4
経常利益	131	183	△51	△28.2	300	168	43.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	72	104	△32	△30.7	170	97	42.8

2. 連結経営指標

(億円未満切捨て)

● 売上高営業利益率 2.0% (3.3%)

● 売上高経常利益率 2.5% (3.6%)

()は、前年同期実績

【ご参考】()は前年度実績

● ROA 2.9% (3.2%)

● ROE 8.4% (9.2%)

(注) 当期純利益は通期予想、自己資本および総資産は、前連結会計年度末と当期連結会計期間の平均値を使用し、算出しております。

・事業環境と荷動きの概況については、雇用・所得環境の改善が続く中で国内需要が下支えしたものの、米中貿易摩擦を背景とした世界経済の減速や地政学リスクの高まりなど、景気の下押し要因が顕在化。

・こうした経営環境のもと、国内貨物は、消費関連貨物が堅調に推移し、倉庫、トラック輸送、海運を中心に取り扱いを伸長。

国際貨物は、全世界において一般機械や電子機器関連の航空貨物輸送が鈍化し、当社においても航空貨物の取扱いは、総じて緩慢に推移。

・この結果、連結の売上高は、ほぼ前年並みとなったが、営業利益、経常利益は、社員制度改革に伴う人件費等の増加もあり、減益。

・営業外収支は、受取配当金の増加や、為替差益の増加等により対前同12億円増加。

・特別利益、特別損益は、前年は、土地建物等の売却による固定資産処分益や、遊休地をバルク処分した際の固定資産処分損の計上等があったが、今期は、4億円の損失増。

I. 2020年3月期 第1四半期業績

B セグメント別実績

(単位:億円、%)

セグメント	項目	2020/3期 1Q実績	2019/3期 1Q実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	上期予想 (4/26発表)	差額	進捗率
日本	売上高	3,025	3,073	△48	△1.6	6,196	3,170	48.8
	セグメント利益	73	119	△46	△39.0	186	112	39.3
米州	売上高	240	231	8	3.7	494	253	48.6
	セグメント利益	8	8	0	0.6	20	11	43.1
欧州	売上高	298	285	13	4.8	604	305	49.5
	セグメント利益	7	5	1	30.7	13	5	56.2
東アジア	売上高	275	283	△8	△2.8	596	320	46.3
	セグメント利益	6	3	2	63.3	14	7	45.1
南アジア・ オセアニア	売上高	219	218	1	0.8	456	236	48.2
	セグメント利益	7	8	△1	△14.5	20	12	37.5
警備輸送	売上高	184	180	3	2.0	368	183	50.0
	セグメント利益	△11	3	△15	-	△19	△7	62.9
重量品建設	売上高	133	124	9	7.8	270	136	49.6
	セグメント利益	10	10	△0	△0.5	22	11	48.3
物流 サポート	売上高	1,145	1,115	29	2.7	2,279	1,133	50.2
	セグメント利益	27	26	0	0.8	58	30	46.7

(億円未満切捨て)

・海外の第1四半期は、1-3月期。海外ブロック合計では、為替の影響を除いた現地通貨ベースでも増収・増益。

I. 2020年3月期 第1四半期業績

C 外部環境の変化およびその他の変動要素

変動要素	連結業績への影響 (1Q)	参考
燃油費単価変動による影響	営業利益 △ 0.6 億円	1ℓあたりの単価（前年同期／前回予想） <ul style="list-style-type: none"> 軽油 : 103.46円(102.64円／100.00円) ガソリン : 136.60円(135.35円／132.60円) 船舶重油 : 55.15円(52.88円／ 49.10円)
為替による影響	売上高 △ 23.7 億円 営業利益 △ 0.7 億円	年間平均為替レート※(前年同期／前回予想) <ul style="list-style-type: none"> USD : 110.20円(108.30円／111.10円) EUR : 125.15円(133.22円／125.10円) HKD : 14.04円(13.84円／ 14.10円) RMB : 16.33円(17.05円／ 16.50円) <small>※「年間平均為替レート」は、参考値。 決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。</small>
退職給付会計の 数理差異償却額の 増加	営業利益 △ 4.3 億円	

I. 2020年3月期 第1四半期業績

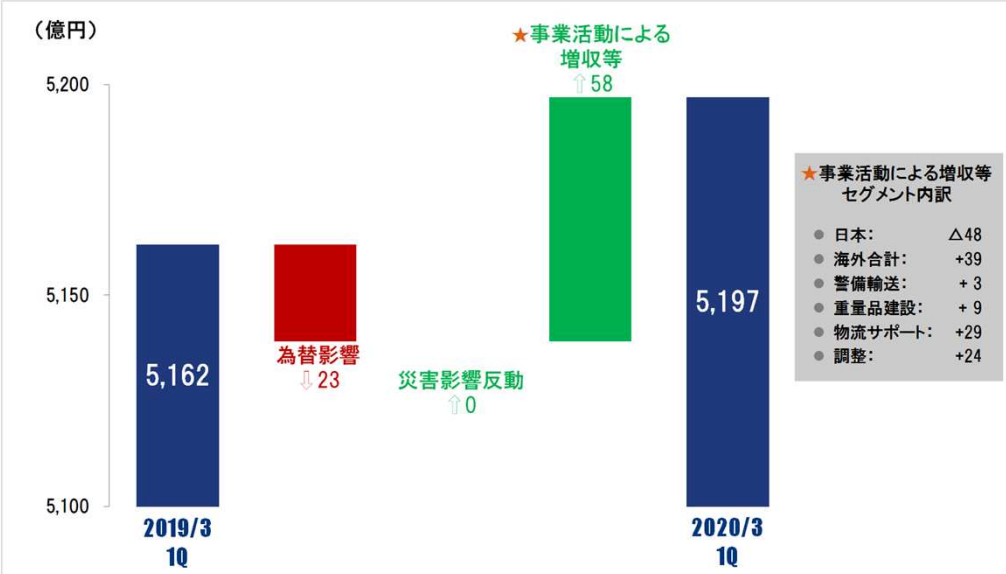
C 外部環境の変化およびその他の変動要素

変動要素	連結業績への影響 (1Q)	参考
災害による影響 (前年特殊要因)	営業利益 0 億円	影響が出るのは、2Q以降
社員制度改革に伴う増減	営業利益 △ 11.6 億円	<ul style="list-style-type: none"> • 日本 : △ 9.1 億円 • 警備輸送 : △ 2.4 億円 • 重量品建設 : △ 0.0 億円
環境投資	営業利益 0 億円	
賞与支給対象期間の変更の影響	営業利益 △ 46.7 億円	<ul style="list-style-type: none"> • 日本 : △ 35.8 億円 • 警備輸送 : △ 9.7 億円 • 重量品建設 : △ 1.1 億円

I. 2020年3月期 第1四半期業績

D 売上高・営業利益増減内訳

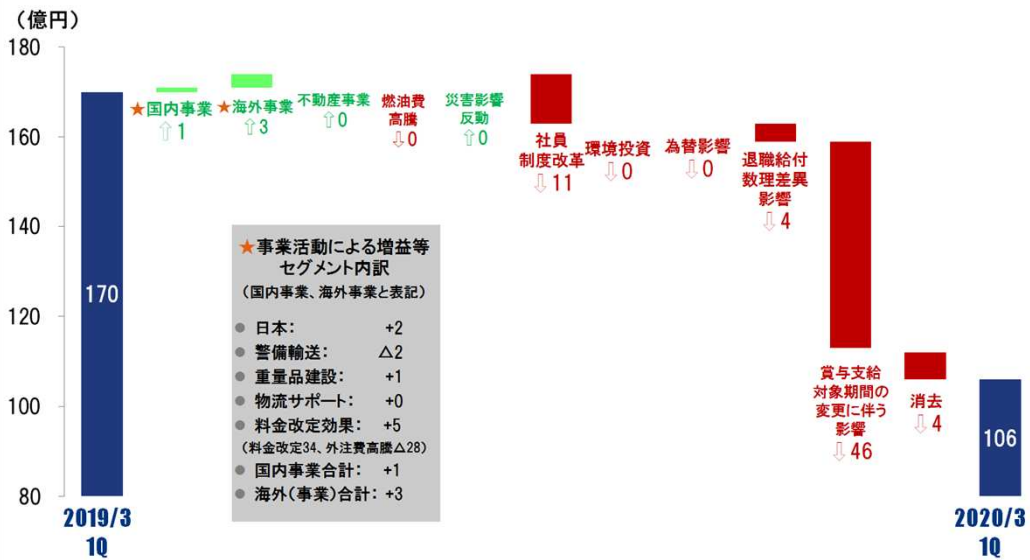
1. 売上高



I. 2020年3月期 第1四半期業績

D 売上高・営業利益増減内訳

2. 営業利益



Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第1四半期決算説明 参考資料

7

・料金改定の取組みについては、34億円の収入増加の効果、一方外注費の単価上昇の影響が28億円となり、増益効果は5億円。

Ⅱ. 2020年3月期 業績予想

A 連結業績予想(変更なし)

(単位:億円、%)

項目	上期			下期			通期		
	2020/3 予想	2019/3 実績	増減額 (増減率)	2020/3 予想	2019/3 実績	増減額 (増減率)	2020/3 予想	2019/3 実績	増減額 (増減率)
売上高	10,500	10,403	96 (0.9)	11,000	10,981	18 (0.2)	21,500	21,385	114 (0.5)
営業利益 (営業利益率)	270 (2.6)	340 (3.3)	△70 (△20.6)	410 (3.7)	455 (4.2)	△45 (△10.0)	680 (3.2)	795 (3.7)	△115 (△14.6)
経常利益	300	377	△77 (△20.6)	430	480	△50 (△10.4)	730	858	△128 (△14.9)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	170	234	△64 (△27.5)	280	258	21 (8.2)	450	493	△43 (△8.8)

(億円未満切捨て)

・連結、個別とも、4月26日に発表した数値を据え置き。

・第1四半期については、ほぼ計画どおりの業績になったものの、国内外において荷動きは総じて緩慢な状況。

一方で、国内の人手不足や、世界経済の不透明感は継続しており、当社を取り巻く事業環境は、引き続き予断を許さない状況が継続。

グループの総力を挙げて、営業力の強化に努めるとともに、収益性を高め、利益を生み出していく。

Ⅱ. 2020年3月期 業績予想

B セグメント別予想(修正後)

(単位:億円)

セグメント	項目	通期			上期			下期		
		2020/3期	2019/3期	増減	2020/3期	2019/3期	増減	2020/3期	2019/3期	増減
日本	売上高	12,618	12,568	49	6,196	6,157	38	6,422	6,410	11
	セグメント利益	472	559	△87	186	238	△52	286	321	△35
米州	売上高	997	986	10	475	472	2	522	514	7
	セグメント利益	47	42	4	20	22	△2	27	20	6
欧州	売上高	1,229	1,148	80	595	559	35	634	588	45
	セグメント利益	30	22	7	13	7	5	17	15	1
東アジア	売上高	1,210	1,227	△17	554	588	△34	656	639	16
	セグメント利益	33	30	2	14	11	2	19	18	0
南アジア・オセアニア	売上高	936	918	17	439	444	△5	497	474	22
	セグメント利益	43	37	5	20	19	0	23	17	5
警備輸送	売上高	739	726	12	368	359	8	371	366	4
	セグメント利益	△18	12	△30	△19	2	△21	1	9	△8
重量品建設	売上高	480	477	2	270	248	21	210	228	△18
	セグメント利益	43	45	△2	22	20	1	21	24	△3
物流サポート	売上高	4,888	4,839	48	2,366	2,285	80	2,522	2,553	△31
	セグメント利益	126	127	△1	58	57	0	68	70	△2

(億円未満切捨て)

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2020年3月期 第1四半期決算説明 参考資料

9

・売上高については、海外売上高が為替の影響により4月26日発表の見通しと比較して130億円減少、物流サポートは日通キャピタルのロジスティクスファイナンスの増加などにより、130億円の増収見込み。

・日本については、航空貨物の輸出入が引き続き軟調であり、本年第2四半期から下期についても、現時点で回復する見通しではなく、大変厳しい状況。6月の個別の売上高の実績を見る限り、倉庫・保管庫事業を除き、自動車、海運でも売上高が対前同でマイナスに転じており、顧客の荷動きなどが鈍化する傾向。

一方で、外注費の上昇、米中貿易摩擦を含む国際情勢については、不確実性の高さが継続しており、下期以降の見通しが難しい状況。

・海外についても、第1四半期については売上高・営業利益とも対前同を上回ってはいるものの、足元での状況は減収基調で、計画と比較して下振れ傾向が強くなっている。

また人件費や外注費の上昇が顕著になりつつあり、収益性の悪化も懸念。

・各顧客からのヒアリング結果による物流動向や、海外における景気動向の不透明感が強く、現時点での通期見通しは、売上高・営業利益などの経営目標は据え置くものの、期首予想のストーリーとしてあった下期景気回復を前提とした業績見通しについては、徐々に厳しい状況となっていると認識。

Ⅱ. 2020年3月期 業績予想

C 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)

変動要素	連結業績への影響 (通期予想)	参考
燃油費単価変動 による影響	営業利益 + 9.6 億円 上期 +3.7億円 下期 +5.8億円 ※期首予想(4/26予想) + 10.0 億円	1ℓあたりの単価 (前期年間平均/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> 軽油 : 97.50円(104.09円/100.00円) ガソリン : 136.90円(137.30円/132.60円) 船舶重油: 54.60円(55.71円/49.10円)
為替による影響	売上高 △ 132.1 億円 営業利益 △ 4.5 億円 ※期首予想(4/26予想) 売上高 △ 42.7 億円 営業利益 △ 1.1 億円	年間平均為替レート※(前期年間平均/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> USD : 108.90円(110.43円/111.10円) EUR : 123.40円(130.42円/125.10円) HKD : 13.90円(14.09円/14.10円) RMB : 15.90円(16.72円/16.50円) ※「年間平均為替レート」は、参考値。 決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。
退職給付会計の 数理差異償却額の 増加	営業利益 △ 17.3 億円	

Ⅱ. 2020年3月期 業績予想

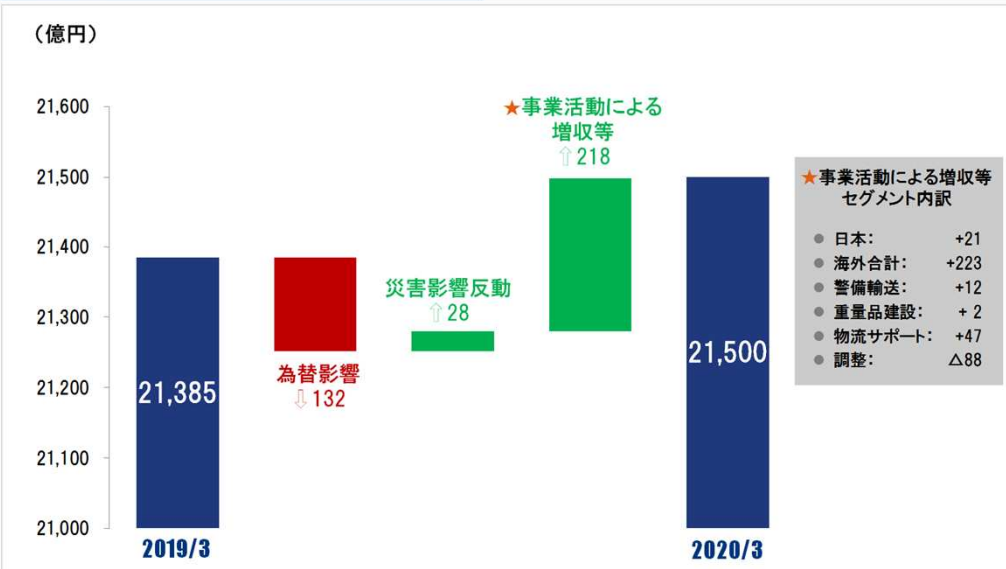
C 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)

変動要素	連結業績への影響 (通期予想)	参考
災害による影響 (前年特殊要因)	営業利益 + 10.1 億円 ※上期 + 9.0 億円 下期 + 1.0 億円	(参考) 2019年3月期における影響 ・災害に伴うお客様工場の稼働停止等による輸送機会損失影響 △24.3億円 ・代行輸送等による通常以外の輸送対応 +14.1億円
社員制度改革に伴う増減	営業利益 △ 80 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本 : △ 62.6億円 ・ 警備輸送 : △ 16.8億円 ・ 重量品建設 : △ 0.5億円
環境投資	営業利益 △ 10 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本 : △ 10億円
賞与支給対象期間の変更の影響	営業利益 △ 46.7 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本 : △ 35.8 億円 ・ 警備輸送 : △ 9.7 億円 ・ 重量品建設 : △ 1.1 億円

Ⅱ. 2020年3月期 業績予想

D 売上高・営業利益増減内訳

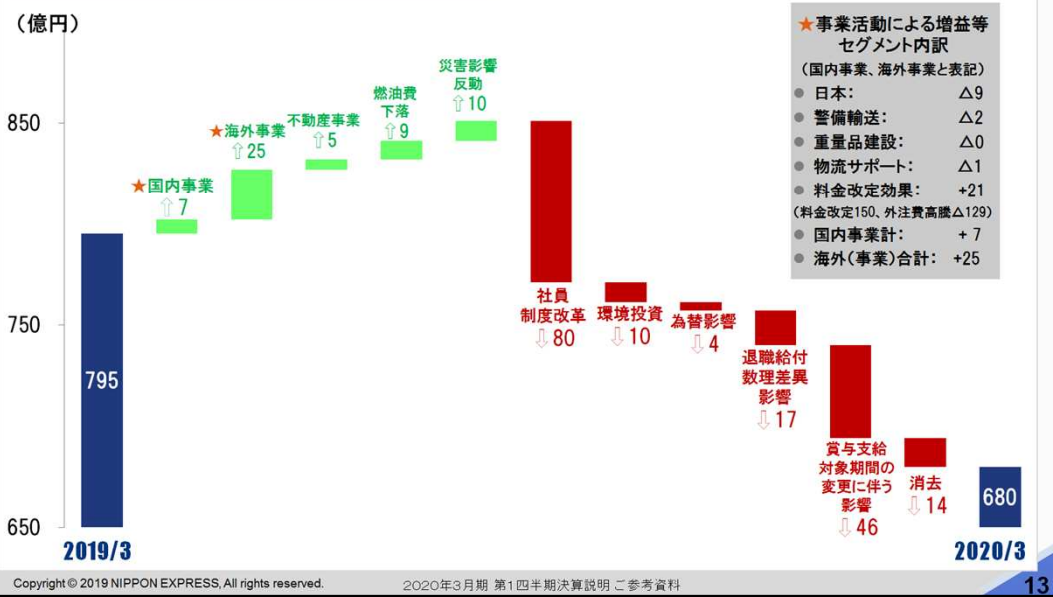
1. 売上高



Ⅱ. 2020年3月期 業績予想

D 売上高・営業利益増減内訳

2. 営業利益



Ⅲ. 2020年3月期 セグメント概況

A 日本セグメント

1. 1Q単四半期実績 (単位:億円、%) ※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	3,025	3,073	△48	△1.6
営業利益※	73(2.4)	119(3.9)	△46	△39.0

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	3,025	3,170	6,196	—	—	6,422	12,618
営業利益※	73(2.4)	112(3.6)	186(3.0)	—	—	286(4.5)	472(3.7)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	3,073	3,084	6,157	3,346	3,063	6,410	12,568
営業利益※	119(3.9)	118(3.8)	238(3.9)	188(5.6)	133(4.3)	321(5.0)	559(4.5)

項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	△48	86	38	—	—	11	49
	△1.6	2.8	0.6	—	—	0.2	0.4
営業利益	△46	△5	△52	—	—	△35	△87
	△39.0	△4.8	△22.0	—	—	△10.9	△15.7

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	12,618	12,618	0
営業利益※	472(3.7)	472(3.7)	0

項目	上期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	6,196	6,196	0
営業利益※	186(3.0)	186(3.0)	0

項目	下期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	6,422	6,422	0
営業利益※	286(4.5)	286(4.5)	0

特殊要因	
【前年の災害影響の反動】	年間 +10(2Q以降に影響)
【社員制度改革に伴う費用増】	年間 △62
【賞与支給対象期間変更】	上期(1Q) △35
【退職給付費用の数理差異償却額の増加】	年間 △13

1Q概況

- 個別での社員制度改革などによる人件費増の影響が大きく、減益。
- 鉄道、トラック輸送は料金改定進めるも、減益。
- 海運は、積極的な入札対応による輸出案件の取込みにより、増収。
- 航空は、前年のスポット貨物の剥落による取扱数量減により、減収。

見通し概況

- 航空貨物の輸出入が引き続き軟調、現時点で回復見通しは厳しい状況。
- 6月の個別売上高実績を見ると、顧客の荷動きなどが鈍化傾向だが、単月での判断は困難。
- 外注費の上昇、米中貿易摩擦を含む国際情勢については、不確実性の高さが継続。

◇1Q単四半期の概況(減収、減益)

- ・個別での社員制度改革などによる人件費増の影響が大きく、減益。
- ・鉄道輸送では、自動車関連部品などの取り扱いが増加したが、前年度の災害影響による顧客の鉄道離れから完全に回復できず、かつ、荷動きが鈍化しており、料金改定を進めているものの、減収。
- ・トラック輸送では、鉄鋼などの荷動きが堅調に推移したものの、自動車関連部品の一部顧客が大幅減となり、減収。
- ・海運では、前年度のスポット輸出の反動や、キャリアのアライアンス変更に伴うコンテナターミナル業務の喪失があったものの、輸入業務の増加や積極的な入札対応による海運輸出の取り込みにより、増収。
- ・航空では、日本発輸出混載貨物の重量が、対前年でマイナス36.7%と大幅に減少し、マーケットの減少率マイナス26.0%を大きく下回った。
前年に好調だった欧州地域向けの自動車関連部品や、アジア向けの電子部品、半導体関連部品の輸出などのスポット貨物が大きく落ち込み、減収。

Ⅲ. 2020年3月期 セグメント概況

B 米州セグメント

1. 1Q単四半期実績 (単位: 億円, %) ※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	240	231	8	3.7
営業利益※	8(3.6)	8(3.7)	0	0.6

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	240	234	475	—	—	522	997
営業利益※	8(3.6)	11(4.8)	20(4.2)	—	—	27(5.2)	47(4.7)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	231	240	472	251	262	514	986
営業利益※	8(3.7)	13(5.7)	22(4.7)	11(4.7)	8(3.3)	20(4.0)	42(4.3)

項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	8 3.7	Δ5 Δ2.4	2 0.6	—	—	7 1.4	10 1.0
営業利益	0 0.6	Δ2 Δ16.8	Δ2 Δ10.1	—	—	6 32.4	4 10.2

1Q概況

・為替の影響を除いた現地通貨ベースでは、増収、減益。
・航空輸出が落ち込んだものの、海運輸出・倉庫・自動車輸送などでカバーし、増収。
・航空取扱量の減少に伴う利用費減や人件費等管理コストの圧縮を図ったものの、微増。

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	997	1,037	Δ40
営業利益※	47(4.7)	47(4.5)	0

項目	上期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	475	494	Δ19
営業利益※	20(4.2)	20(4.0)	0

項目	下期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	522	543	Δ21
営業利益※	27(5.2)	27(5.0)	0

見通し概況

・為替の影響を考慮し、4月26日発表の見通しと比較して、通期で、40億円の減収見通し。

◇1Q単四半期の概況(増収、利益横ばい)

- ・為替の影響を除いた現地通貨ベースでは、増収、減益。
- ・世界景気の影響を受け、航空輸出が落ち込んだものの、海運輸出、倉庫、自動車輸送などでカバーし、増収。
- ・営業利益は、費用面では、航空取扱量の減少に伴う利用費の減少や人件費等管理コストの圧縮を図ったものの、微増。

Ⅲ. 2020年3月期 セグメント概況

C 欧州セグメント

1. 1Q単四半期実績

(単位:億円、%)
※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	298	285	13	4.8
営業利益※	7(2.4)	5(2.0)	1	30.7

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	298	296	595	—	—	634	1,229
営業利益※	7(2.4)	5(1.9)	13(2.2)	—	—	17(2.7)	30(2.4)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	285	274	559	274	313	588	1,148
営業利益※	5(2.0)	1(0.6)	7(1.3)	4(1.7)	10(3.5)	15(2.6)	22(2.0)

項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	13 4.8	21 7.9	35 6.3	—	—	45 7.8	80 7.0
営業利益	1 30.7	4 249.1	5 79.8	—	—	1 9.8	7 32.1

1Q概況

・航空輸出が、アパレル関連の取扱減、前年スポットの反動減があった一方、倉庫配送業務で、既存顧客の扱いとFV + Traconf社の扱いが堅調に推移。
・費用面では、人件費の高止まりが継続するものの、増収や前年のトラコン社の連結化に伴う、一時費用がなくなり、増益。

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	1,229	1,252	△23
営業利益※	30(2.4)	30(2.4)	0

項目	上期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	595	604	△9
営業利益※	13(2.2)	13(2.2)	0

項目	下期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	634	648	△14
営業利益※	17(2.7)	17(2.6)	0

見通し概況

・為替の影響を考慮し、4月26日発表の見通しと比較して、通期で、23億円の減収見通し。

◇1Q単四半期の概況(増収、増益)

・航空輸出が、アパレル関連の取扱減、イタリアやベルギーで前年スポットの反動減などにより減収となったものの、倉庫配送業務では、既存顧客の取扱いと、Franco Vago社・Traconf社での取扱いも堅調に推移し、増収。

・費用面では引き続き人件費が高止まりしているが、増収や前年のTraconf社の連結化に伴う一時費用がなくなったため、増益。

Ⅲ. 2020年3月期 セグメント概況

D 東アジアセグメント

1. 1Q単四半期実績

(単位:億円、%) ※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	275	283	△8	△2.8
営業利益*	6(2.3)	3(1.4)	2	63.3

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	275	278	554	—	—	656	1,210
営業利益*	6(2.3)	7(2.8)	14(2.5)	—	—	19(2.9)	33(2.7)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	283	304	588	308	331	639	1,227
営業利益*	3(1.4)	7(2.5)	11(2.0)	8(2.6)	10(3.1)	18(2.9)	30(2.5)

項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	△8 △2.8	△26 △8.7	△34 △5.9	—	—	16 2.6	△17 △1.4
営業利益	2 63.3	△0 △0.8	2 20.5	—	—	0 2.9	2 9.7

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	1,210	1,263	△53
営業利益*	33(2.7)	33(2.6)	0

項目	上期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	554	596	△42
営業利益*	14(2.5)	14(2.3)	0

項目	下期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	656	667	△11
営業利益*	19(2.9)	19(2.8)	0

1Q概況
 ・欧州・アジア向けの海運輸出や倉庫配送が堅調の一方、航空輸出での一部失注や北米向けの取り扱い減により、減収。
 ・航空利用費が数量減と単価下落により大きく減少し、加えて、固定費の圧縮に努めた結果、増益。営業利益率も、0.9ポイント改善

見通し概況
 ・為替の影響を考慮し、4月26日発表の見通しと比較して、通期で、53億円の減収見通し。

◇1Q単四半期の概況(減収、増益)

- ・欧州・アジア向けの海運輸出や倉庫配送が堅調で、売上高増となったが、航空輸出での一部失注や北米向けの取り扱い減少により、全体では減収。
- ・営業利益は、航空利用費が数量減と単価下落により大きく減少したことや、固定費の圧縮に努めた結果、増益。営業利益率も、0.9ポイント改善。

Ⅲ. 2020年3月期 セグメント概況

E 南アジア・オセアニアセグメント

1. 1Q単四半期実績

(単位:億円、%)
※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	219	218	1	0.8
営業利益※	7(3.4)	8(4.0)	△1	△14.5

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	219	219	439	—	—	497	936
営業利益※	7(3.4)	12(5.7)	20(4.6)	—	—	23(4.6)	43(4.6)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	218	226	444	236	237	474	918
営業利益※	8(4.0)	10(4.7)	19(4.3)	10(4.3)	7(3.2)	17(3.7)	37(4.0)

項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	1 0.8	△7 △3.3	△5 △1.3	—	—	22 4.8	17 1.9
営業利益	△1 △14.5	1 18.4	0 3.4	—	—	5 29.4	5 15.9

1Q概況

・航空輸出で顧客失注やスポット減の影響により、減収だったが、海運・倉庫配送において、自動車関連やアパレルを中心に取扱いを伸ばした結果、増収。
・営業利益は、利用費高騰や下請費増の影響が続き、利益を圧迫。

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	936	950	△14
営業利益※	43(4.6)	43(4.5)	0

項目	上期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	439	456	△17
営業利益※	20(4.6)	20(4.4)	0

項目	下期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	497	494	3
営業利益※	23(4.6)	23(4.7)	0

見通し概況

・為替の影響を考慮し、4月26日発表の見通しと比較して、通期で、14億円の減収見通し。

◇1Q単四半期の概況(増収、減益)

・航空輸出で、顧客の失注やスポット減の影響により、減収となったが、海運・倉庫配送において、自動車関連やアパレルを中心に取扱いを伸ばした結果、全体では増収。

・営業利益は、利用費高騰や下請費増加の影響が続き、利益を圧迫した結果、減益。

Ⅲ. 2020年3月期 セグメント概況

F 警備輸送セグメント

1. 1Q単四半期実績

(単位:億円、%)
※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	184	180	3	2.0
営業利益※	△11(-)	3(1.8)	△15	-

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	184	183	368	-	-	371	739
営業利益※	△11(-)	△7(-)	△19(-)	-	-	1(0.3)	△18(-)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	180	179	359	181	185	366	726
営業利益※	3(1.8)	△0(-)	2(0.8)	3(1.8)	6(3.3)	9(2.6)	12(1.7)

項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	3 2.0	4 2.6	8 2.3	-	-	4 1.2	12 1.7
営業利益	△15 -	△6 -	△19 -	-	-	△8 -	△30 -

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	739	739	0
営業利益※	△18(-)	△18(-)	0

項目	上期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	368	368	0
営業利益※	△19(-)	△19(-)	0

項目	下期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	371	371	0
営業利益※	1(0.3)	1(0.3)	0

特殊要因

【社員制度改革に伴う費用増】 年間 △16
【賞与支給対象期間変更】 上期(1Q) △10
【退職給付費用の数理差異償却額の増加】 年間 △3

1Q概況
・SD機の外販による売上高増はあったものの、金融機関の店舗統合やコスト削減による設定便の減便、社員制度改革や賞与支給対象期間の変更による人件費増の影響により、大幅減益。

見通し概況
・社員制度改革による人件費影響は大きいですが、拡販による改善を見込む。

◇1Q単四半期の概況(増収、減益)

・外部顧客へのSD機の販売による売上高増はあったものの、金融機関の店舗統合やコスト削減による設定便の減便に加え、社員制度改革や賞与支給対象期間の変更による人件費増の影響により、大幅減益で11億円の営業赤字。

Ⅲ. 2020年3月期 セグメント概況

G 重量品建設セグメント

1. 1Q単四半期実績

(単位:億円、%)
※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	133	124	9	7.8
営業利益※	10(7.9)	10(8.6)	△0	△0.5

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	133	136	270	-	-	210	480
営業利益※	10(7.9)	11(8.4)	22(8.1)	-	-	21(10.0)	43(9.0)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	124	124	248	120	108	228	477
営業利益※	10(8.6)	10(8.2)	20(8.4)	15(13.0)	8(8.0)	24(10.6)	45(9.5)

項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	9 7.8	11 9.4	21 8.6	-	-	△18 △8.2	2 0.5
営業利益	△0 △0.5	1 11.5	1 5.3	-	-	△3 △13.6	△2 △4.9

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	480	480	0
営業利益※	43(9.0)	43(9.0)	0

項目	上期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	270	270	0
営業利益※	22(8.1)	22(8.1)	0

項目	下期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	210	210	0
営業利益※	21(10.0)	21(10.0)	0

特殊要因

【社員制度改革に伴う費用増】 年間 △0.5
 【費与支給対象期間変更】 上期(1Q) △1
 【退職給付費用の数理差異償却額の増加】 年間 △0.4

1Q概況

・国内外における風力発電関係の輸送・据え付けや国内のプラントでのシャットダウンメンテナンスが、計画通りに推移。
 ・人件費高騰などの影響もあり、営業利益は微減。

見通し概況

・上期は、風力発電、シャットダウンメンテナンス案件の継続により、堅調な推移を見込む。
 ・下期については、追加での案件の獲得に向け、拡販に取り組む。

◇1Q単四半期の概況(増収、減益)

- ・国内外における風力発電関係の輸送・据え付けや、国内のプラントでのシャットダウンメンテナンスが、ほぼ計画通りに推移し増収。
- ・人件費高騰などの影響もあり、営業利益は微減。

Ⅲ. 2020年3月期 セグメント概況

H 物流サポートセグメント

1. 1Q単四半期実績 (単位:億円、%) ※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	1,145	1,115	29	2.7
営業利益*	27(2.4)	26(2.4)	0	0.8

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	1,145	1,220	2,366	—	—	2,522	4,888
営業利益*	27(2.4)	30(2.5)	58(2.5)	—	—	68(2.7)	126(2.6)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	1,115	1,170	2,285	1,281	1,272	2,553	4,839
営業利益*	26(2.4)	30(2.6)	57(2.5)	33(2.6)	36(2.9)	70(2.7)	127(2.6)

項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)						
	1Q	2Q予想	上期予想	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	29	50	80	—	—	△31	48
	2.7	4.3	3.5	—	—	△1.2	1.0
営業利益	0	0	0	—	—	△2	△1
	0.8	0.4	0.6	—	—	△3.0	△1.4

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	4,888	4,758	130
営業利益*	126(2.6)	126(2.6)	0

項目	上期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	2,366	2,279	87
営業利益*	58(2.5)	58(2.5)	0

項目	下期業績予想比較		
	7/31予想	4/26予想	増減額
売上高	2,522	2,479	43
営業利益*	68(2.7)	68(2.7)	0

1Q概況
 ・日通キャピタルでのWindows10の代替需要によるロジスティクスファイナンスが好調に推移。
 ・日通商事において、石油販売は単価減による減収、ロジスティクス・サポート事業は、輸出梱包の減少により落ち込み、鉄鋼製品などの物流機器販売は貢献したものの減収。

見通し概況
 ・日通キャピタルのロジスティクスファイナンスの増収を加味し、4月26日発表の見通しと比較して、通期で、130億円の増収見通し。

◇1Q単四半期の概況(増収、増益)

・日通キャピタルでのWindows10の代替需要によるロジスティクスファイナンスが好調に推移したこともあり、増収。

・日通商事においては、石油販売が単価減により減収、ロジスティクス・サポート事業が、輸出梱包の減少により落ち込み、鉄鋼製品などの物流機器販売は貢献したものの、減収。

IV. 日通グループ経営計画2023 KPI

A 日通グループ経営計画2023 KPI <コア事業の成長戦略>

項目 (売上高)	国内*		海外	
	2019年3月期 実績	2024年3月期 KPI	2019年3月期 実績	2024年3月期 KPI
電機・電子産業への取組強化	1,154億円	1,200億円	1,054億円	1,450億円
自動車産業への取組強化	512億円	900億円	591億円	1,100億円
アパレル産業への取組強化	163億円	245億円	482億円	800億円
医薬品産業への取組強化	167億円	360億円	95億円	400億円
非日系顧客の拡大(GAM・GTA*)	260億円	430億円	-	-
合計	2,256億円	3,135億円	2,222億円	3,750億円
伸長額		+ 879億円		+ 1,528億円
項目(フォワーディング数量)	2019年3月期 実績		2024年3月期 KPI	
海上フォワーディングの拡大	68万TEU		130万TEU	
航空フォワーディングの拡大	90万t		140万t	

* 国内実績、KPI数値は、日本通運単体のみ。

* GAMとは、GAM(Global Account Management)のこと。GTAとは、GTA(Global Target Accounts)のこと。

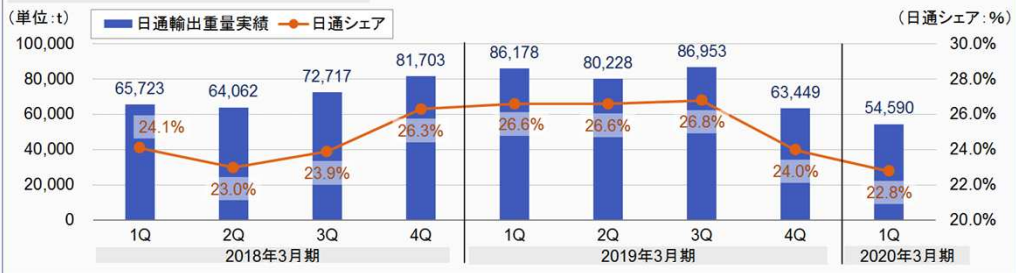
* フォワーディング数量は、1月～12月の1年間数量。

補足資料

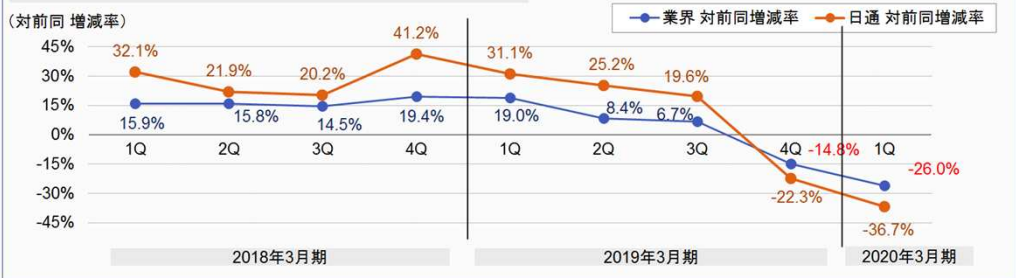
本資料に掲載している情報は、各項目の傾向を示しておりますが、各種決算処理を行う前のデータを使用しているため、項目ごとの合計数値は、決算数値と異なる場合があります。
当社事業の現況をご理解いただくための参考資料として作成しておりますので、その旨、ご承知おきください。

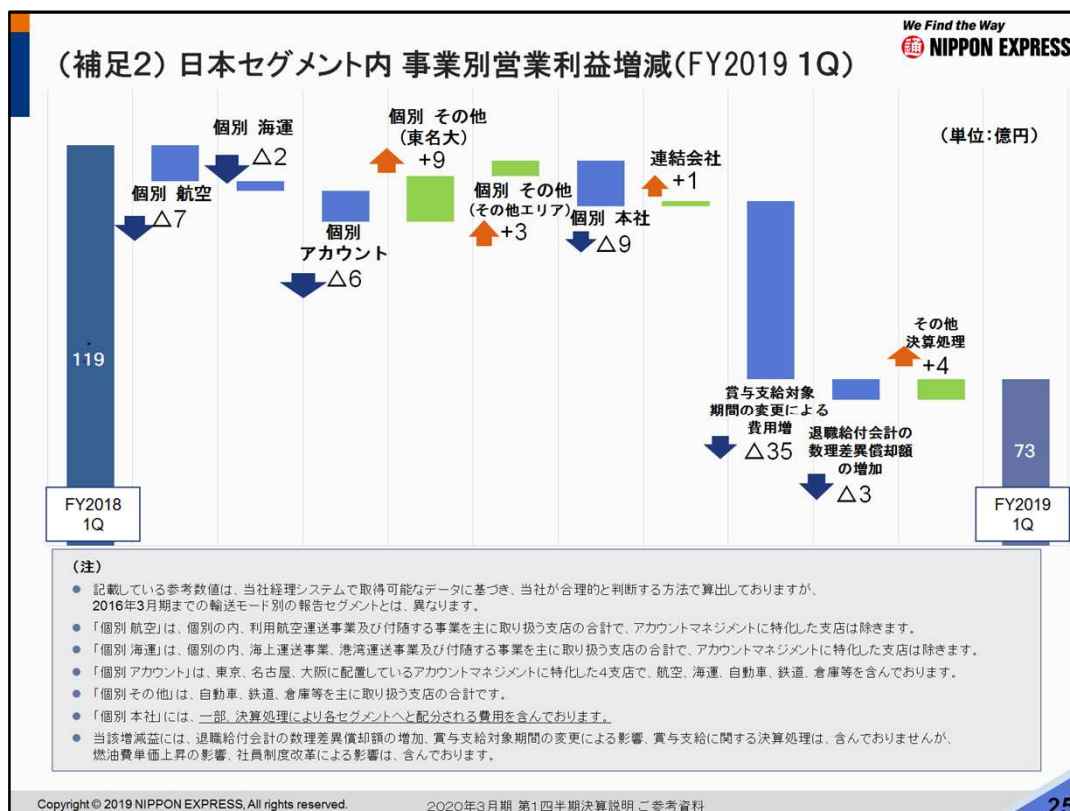
(補足1) 日本発 輸出航空貨物 重量動向

日本発 輸出航空貨物 重量動向



日本発 輸出航空貨物 対前同増減率推移・比較





・個別の航空が、大幅減益。

・アカウント営業を担当する支店も、前年に利益貢献した航空輸出が落ち込んだため、減益。

・個別の海運も減益。

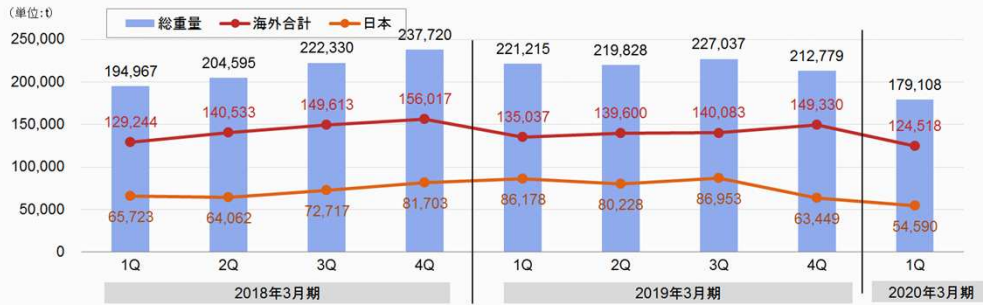
・個別の自動車、鉄道、倉庫等を主に取り扱う国内ブロックと、国内の連結会社は、旺盛な倉庫需要への対応や空坪対策、適正料金の収受により利益を伸長。

(補足3) 輸出貨物動向(航空)

(単位:t)

発地 地域名	2018年3月期					2019年3月期					2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
日本	65,723	64,062	72,717	81,703	284,205	86,178	80,228	86,953	63,449	316,808	54,590				
米州	18,610	21,729	20,304	20,496	81,139	21,149	22,915	22,532	21,193	87,789	19,868				
欧州	28,592	30,992	32,292	38,935	130,811	29,479	30,638	31,618	37,874	129,609	29,856				
東アジア	40,917	45,648	46,197	48,532	181,294	40,761	42,084	41,122	45,847	169,814	35,258				
南アジア・オセアニア	41,124	42,164	50,819	48,053	182,160	43,648	43,963	44,810	44,416	176,837	39,535				
海外合計	129,244	140,533	149,613	156,017	575,404	135,037	139,600	140,083	149,330	564,050	124,518				
総重量	194,967	204,595	222,330	237,720	859,609	221,215	219,828	227,037	212,779	880,859	179,108				

(注)海外地域は、1Q:1-3月 / 2Q:4-6月 / 3Q:7-9月 / 4Q:10-12月となります。

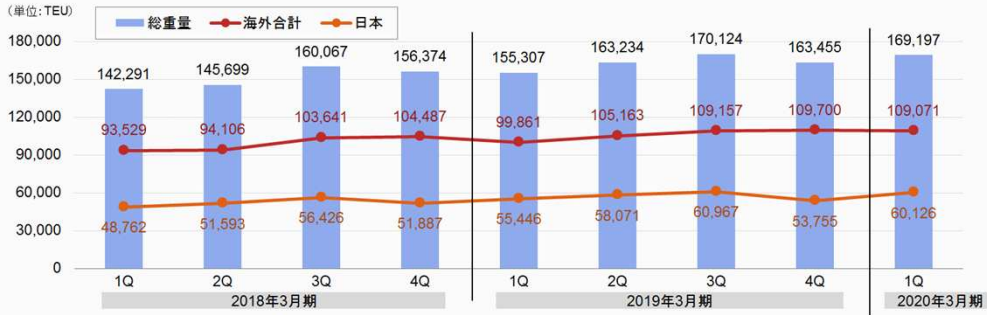


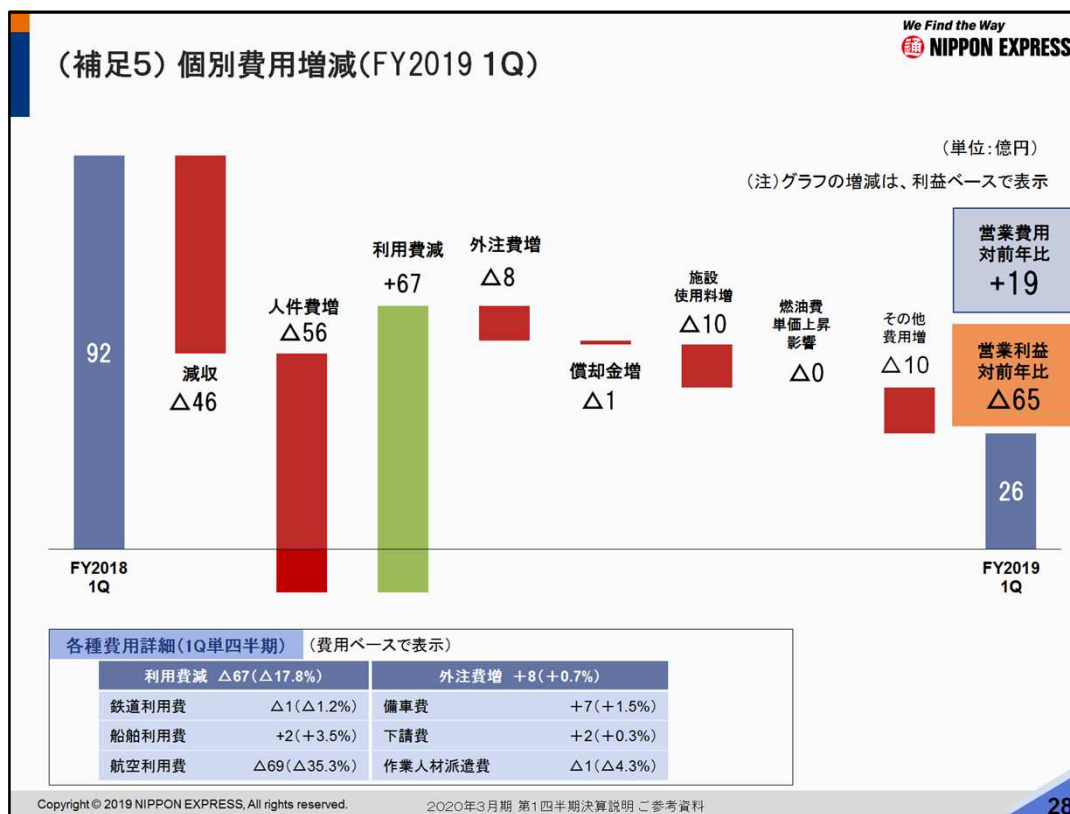
(補足4) 輸出貨物動向(海運)

(単位: TEU)

発地 地域名	2018年3月期					2019年3月期					2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
日本	48,762	51,593	56,426	51,887	208,668	55,446	58,071	60,967	53,755	228,239	60,126				
米州	8,581	8,333	8,285	9,615	34,815	8,957	9,761	8,998	9,603	37,319	9,157				
欧州	12,320	10,441	11,330	12,063	46,153	10,862	11,292	10,897	11,107	44,158	10,943				
東アジア	47,411	49,142	53,948	52,030	202,531	50,551	54,801	57,456	57,046	219,854	59,122				
南アジア・オセアニア	25,218	26,189	30,079	30,779	112,264	29,491	29,309	31,806	31,944	122,550	29,847				
海外合計	93,529	94,106	103,641	104,487	395,763	99,861	105,163	109,157	109,700	423,881	109,071				
総重量	142,291	145,699	160,067	156,374	604,431	155,307	163,234	170,124	163,455	652,120	169,197				

(注) 海外地域は、1Q: 1-3月 / 2Q: 4-6月 / 3Q: 7-9月 / 4Q: 10-12月となります。





- ・人件費は、社員制度改革や、賞与支給対象期間の変更による影響が出た一方、超勤削減と人員減などとの相殺により、56億円の費用増。
- ・利用運送費は、航空利用費が輸出数量が大幅減となった影響により前年比で大きく減少。
- ・船舶利用費は、前年度のスポート貨物の剥落はあったものの、新規入札獲得による数量増などにより増加となったが、おおむね想定どおりで推移。
- ・外注費につきましては、単価上昇による影響はあったが、顧客への料金転嫁も進めるなか、想定内の上昇。

We Find the Way



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。